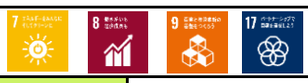
令和６年度　基本評価調書			所管部局	経済部	所管課	スタートアップ推進室	
施策名	宇宙航空産業の振興				施策コード	0514	
政策の柱	ものづくり・成長分野				政策体系コード	1(5)C	
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策、北海道Society5.0推進計画、ゼロカーボン北海道推進計画						事務事業数 5
特定分野別計画							
SDGs					総合判定	概ね順調	
予算額（千円）	R6	29,350千円	R5	16,794千円	R4	18,340千円	

施策目標	宇宙航空産業の成長産業化に向けた取組を推進する。
現状と課題	（宇宙航空産業振興） 道内には宇宙航空産業分野におけるビジネス創出や参入しようとする企業が存在するが、技術力の向上、人材確保のほか投資や海外需要の獲得が必要。

〈主な取組〉

今年度の取組	（宇宙航空産業振興） 宇宙航空産業への投資の呼び込みやスタートアップの促進に向けて、国内外の宇宙・航空分野の最新情報の提供や人との繋がりの場の創出、人材確保のほか、海外需要の獲得を支援するとともに、航空機関連産業への参入促進に向けた取組支援を行う。 ①宇宙スタートアップ支援のための交流セミナー ②宇宙イベントの開催 ③宇宙関連展示会への出展 ④宇宙分野に特化した企業説明会、就業体験会 ⑤航空分野における技術講習会 ⑥航空機関連の専門個別研修 ⑦研修費用の助成 ⑧国際品質規格の認証取得促進
実績と成果	（宇宙航空産業振興） ①スタートアップ北海道と連携し、宇宙分野の起業家との交流セミナーを開催し、宇宙分野の起業への興味関心を醸成（R6.2） ②室蘭市、胆振総合振興局と連携してイベントを開催し、各種製造業から宇宙産業への新規参入プロセスについて理解を深める取組を行った（R5.12） ②宇宙をテーマにした起業アイデアの成果発表会を開催し、今後の事業化を目指す人材輩出につながる取組を行った（R6.6） ③国際宇宙産業展へ出展し道内関連企業及び北海道スペースポートをPRし認知度向上と新規販路開拓を支援（R6.2） ④企業説明会と就業体験会を「宇宙業界探求フェア」として連動して開催し、大学生等の若年層に対し、宇宙産業への興味関心を醸成（R6.2） ⑤年間3回の航空分野に特化した技術講習会開催より、参加企業の人材開発につながる取組を行った（のべ22社、R5.8～R6.1） ⑥航空機関連事業への進出を目指す企業に対する専門家の伴走支援により、新規参入に向けた技術習得が図られた（2社、R5.8～R5.10） ⑦大手航空機メーカーと取引する道外企業への派遣研修に助成し、社内人材の能力向上を支援（1社、R6.3） ⑧上記各施策の相乗効果により、航空宇宙・防衛産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格JIS Q 9100の新規取得につながった（1社、R5.9）

参考HP①	北海道スタートアップ支援	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sus/startup.html
参考HP②	宇宙航空産業	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/category/d011/c074/s353/
参考HP③		

令和6年度 基本評価調書	【1(5)C_0514】宇宙航空産業の振興

〈指標分析〉 ⇒成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	件	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R14)	達成率	指標判定
宇宙航空分野の研究・実験の誘致件数[2023年以降累計]		目標値	ー	ー	1	16	100.0%	A
		実績値	1	1	1			
設定理由	当指標は、宇宙航空分野における研究・実験の道内への累計誘致件数を測るものであり、道内における技術力向上や投資の促進といった課題に対する取組の成果を表す指標として設定。なお、R3年度・R4年度・R5年度の目標値・実績値については、各単年度の値を記載。							
指標公表時期	毎年調査、5月末頃公表	出典(根拠計画等)	北海道経済部調べ					
分析(主な取組と成果)								
当施策において、道外の関連企業や研究機関に対して、道内企業の技術力や誘致体制等が広く周知されたことにより、着実に新規件数が積み上がったものと考えられる。								

指標名②	増加	件	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R14)	達成率	指標判定
宇宙航空分野への参入件数[2023年以降累計]		目標値	ー	ー	2	18	50.0%	D
		実績値	1	2	1			
設定理由	当指標は、宇宙航空分野への新規参入と宇宙スタートアップの創出件数の合計累計値を測るものであり、道内における技術力向上や投資の促進といった課題に対する取組の成果を測る指標として設定。なお、R3年度・R4年度・R5年度の目標値・実績値については、各単年度の値を記載。							
指標公表時期	毎年調査、5月末頃公表	出典(根拠計画等)	北海道経済部調べ					
分析(主な取組と成果)								
成果指標の性質上、施策の取組がすぐに実績に結びつくものではないため目標には届いていないが、すでに新規参入に向けた事業化の準備に入っている等、次年度の実績としてほぼ確実視される事例創出につながっており、今後も継続して同様の取組を行うことが重要と考える。								

指標名③			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R14)	達成率	指標判定
		目標値					ー	ー
		実績値						
設定理由								
指標公表時期		出典(根拠計画等)						
分析(主な取組と成果)								

指標名④			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R14)	達成率	指標判定
		目標値					ー	ー
		実績値						
設定理由								
指標公表時期		出典(根拠計画等)						
分析(主な取組と成果)								

指標名⑤			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R14)	達成率	指標判定
		目標値					ー	ー
		実績値						
設定理由								
指標公表時期		出典(根拠計画等)						
分析(主な取組と成果)								

令和6年度 基本評価調書	【1(5)C_0514】宇宙航空産業の振興

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	（課題） 宇宙航空関連産業は、道央圏及び北海道スペースポートのある大樹町に集積しているが、成長産業化を加速させるためには、全道的な広がり及び各プレイヤーのネットワーク強化が必要。 （取組と成果） R5年9月に、道や札幌市、北海道経済産業局などとともに「スタートアップ北海道」実行委員会を立ち上げ、オール北海道で支援する体制を整備。

緊急性 優先性	（課題） 宇宙基本計画の改定(R5.6)において「国際競争力を持つ企業の戦略的育成・支援」が新たな国の基本スタンスとされており、これに基づいた施策の展開が必要。 （取組と成果） 展示会における海外企業との商談支援を実施した他、今年度は海外ロケット事業者を招いたシンポジウムや欧州開催の展示会出展支援などを実施し、国際競争力を備えた宇宙関連産業の育成を推進予定。

〈その他統計数値等〉

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
製造業の付加価値生産性（経済構造実態調査）	1,057万円 （R2年度）	1,099万円 （R3年度）	1,028万円 （R4年度）

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

（課題）
宇宙航空産業の資金獲得や人材確保においては、付加価値や生産性の高いビジネスモデルが求められる。

（状況） 製造業全体の数値低下は、石油製品製造業やパルプ・紙製造業の大幅な付加価値減少が影響しているものであり、輸送用機械器具製造業に限れば、前年比14.5%の伸びを見せている。今後も道内製造業の高付加価値化を担う宇宙航空産業の成長を推進する必要がある。	a

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
「北海道宇宙関連ビジネス創出連携会議」 会員数[2024以降]	83団体 （R3年度）	100団体 （R4年度）	101団体 （R5年度）

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

（課題）
宇宙航空産業の成長産業化には、道内における関連企業間の協業や連携が不可欠である。

（状況） R2年の会議立上げ時に製造業や運輸業等の企業が一斉に参画し、4年目を迎えた現在は参加団体が100を超えた。今後は、新たにこの分野で創業するスタートアップの加入に向けて支援を継続する必要がある。	a

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

（課題）

（状況）	

令和6年度 基本評価調書	【1(5)C_0514】宇宙航空産業の振興

〈総合判定〉

指標判定	B※	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	a		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標
（宇宙航空分野への参入件数[2023年以降累計]）

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	宇宙航空分野への参入件数、特にスタートアップの場合は、支援の成果が実るまでに一定の時間がかかることから、施策内容や事業規模を安易に変更することなく、引き続き関係機関と連携し各取組を推進する。
	②	民間による宇宙利用の拡大や空飛ぶ車の社会実装など、宇宙航空分野を取り巻く社会状況の変化が加速していることから、随時、施策のブラッシュアップを図り、変化に対応した実効性のある取組を行う。
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	【施策目標の達成状況】 総合計画に掲げる、宇宙航空産業への参入や集積を促進するため、宇宙ビジネスに関する道内外からの需要獲得や人材の確保、航空機関連産業への参入に必要な技術力の向上や国際品質規格の認証取得を促進することが重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。

〈ＡＣＴＩＯＮ〉

二次政策評価への対応	R6年度は、「北海道宇宙サミット」の共催や、同会場における「北海道宇宙関連ビジネス創出連携会議」と「startup hokkaido」の共同ブース展開による宇宙ビジネスへの新規参入の呼びかけ、また、国際展示会(イタリア)出展による海外需要獲得施策など、初めてトライした事業推進が実を結び、連携会議への参画企業が4社増える(101→105)など具体的な成果が数字として表れるようになったところ。R7年度は庁内体制も強化されることから、さらに積極的かつチャレンジングな事業推進を実施し、道内における宇宙産業の集積及び成長産業化を加速させる。	
翌年度施策の方向性	対応方針番号	方向性
	①	「北海道宇宙関連ビジネス創出連携会議」での情報発信やセミナー開催による新規参入支援、宇宙スタートアップの企業説明会・見学会による人材確保支援、及び国際展示会出展による海外需要獲得支援に取り組む。
	②	機構改革による体制強化を踏まえ、大樹町で進む宇宙港の整備や民間ロケットの実証打上、さらには気球による成層圏遊覧など、個別のビジネススタイルやニーズに応じた各種調整や支援を充実させ、宇宙航空産業の成長産業化に取り組む。
	③	

令和６年度　事務事業評価調書	施策名	宇宙航空産業の振興	施策コード	0514

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	方向性	二次政策評価意見	ACTION　結果への対応（令和6年度） 次年度方向性	二次評価意見への対応状況
0532		一般	スタートアップ推進費（フロンティア分野研究開発推進費）	宇宙分野での研究開発を推進するためのプロジェクト誘致や普及活動	スタートアップ推進室	0	140	140	0.1	0.0	0.1	941					
0533		一般	スタートアップ推進費（北海道宇宙科学技術創成センター活動支援事業費補助金）	宇宙分野での研究開発を推進するためのプロジェクト誘致や普及活動等に対する支援	スタートアップ推進室	0	1,192	1,192	0.4	0.0	0.4	4,396					
0562		一般	航空機関連産業雇用創造・クラスター拡充事業（地プロ）	航空機関連産業への道内企業の事業転換や経営多角化のための従業員育成等への支援	スタートアップ推進室	0	10,139	2,028	1.0	0.0	1.0	18,149					
0581		事務	スタートアップ関連総合調整業務	スタートアップ関連業務について、関係部局と協議・調整を図る。	スタートアップ推進室	0	0	0	0.5	0.0	0.5	4,005					
0584		一般	宇宙関連ビジネス加速化プロジェクト推進事業	宇宙航空産業における国内外の最新情報の把握と事業者への提供。人との繋がりの場の創出、人材確保を支援等を行い、本道の宇宙産業の成長産業化を図る。	スタートアップ推進室	0	17,879	9,806	2.5	0.0	2.5	37,904	①②	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書 ＜二次政策評価＞参照	拡充	R6年度は、「北海道宇宙サミット」の共催や、同会場における「北海道宇宙関連ビジネス創出連携会議」と「startup hokkaido」の共同ブース展開による宇宙ビジネスへの新規参入の呼びかけ、また、国際展示会（イタリア）出展による海外需要獲得施策など、初めてトライした事業推進が実を結び、連携会議への参画企業が4社増える（101→105）など具体的な成果が数字として表れるようになったところ。R7年度は庁内体制も強化されることから、さらに積極的かつチャレンジングな事業推進を実施し、道内における宇宙産業の集積及び成長産業化を加速させる。
計						0	29,350	13,166	4.5	0.0	4.5						